

FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

7月12日は日本で初めて人間ドックが行われた日、と言われています。

1954年7月12日に国立東京第一病院（現国立国際医療研究センター病院）で初めて行われたとされています。当時は「短期間入院特別健康精査」と言われていたようですが、船が港に帰りドックに上がり検査をすることになぞらえて人間ドックと言われるようになったそうです。

当時の人間ドックの費用は6日間の入院で12,000円程度。大卒公務員の初任給が8,700円ほどだった時代ですからその1.4倍ととても高いものでブルドック（ブルジョア・ドック）と言われていたようです。

今では様々な検診・検査を比較的容易に受けることができます。老後が長い時代です。健康管理にも気を配りたいですね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

先月金融庁が公表した報告書については、テレビなどでも大きく取り上げられたのでご覧になった方も多かったと思います。実際のところどうなのかを整理してみました。



FP 松本相談センター
CFP・IFA・DCコンサルタント
媚山裕之
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250 090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<https://fp-matsumoto.com>

夏は水の事故に注意しましょう

7月8月は夏休みでもあり水のレジャーを楽しむ機会も多いかもしれません。事故に遭うとせっかくの夏休みが台無しになってしまいます。

警視庁によると平成29年に起こった水難件数は1341件、水難に遭った人は1614人でした。そのうち4割以上の679人が亡くなっています（行方不明含む）。中学生以下の子どもも26人が亡くなっています。下表は場所・原因別の死者・行方不明者数です。

	全体	内子ども		全体	内子ども
海	384	4	水泳	47	12
河川	174	17	水遊び	61	5
湖沼地	57	3	魚とり・釣り	219	
用水路	55	1	作業中	44	
プール	2	1	通行中	42	1
その他	7		その他	266	8
	679	26		679	26

子どもに関しては川の事故が多いのですね。公益財団法人河川財団の「こどもの水辺サポートセンター」では、「いつ、どこで、だれが、何をして（なぜ）」事故に遭ったのか詳しく説明されています。

<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid324.html>

「危険度別救助法6つのレベル」や「水や流れの危険性」、「もし流された場合の対処法」などもわかりやすく記載されています。

河川のレジャーの前には一度ご覧になっておいても良いかもしれませんね。

2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2019年4末	260,000	263,998	263,024	262,719
2019年5末	270,000	263,319	266,265	270,356
2019年6末	280,000	279,120	281,150	284,739

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

5月の株価は日米とも大幅に下落しました。

	日経平均	NYダウ	ドル円
5月末	20601.19	24815.04	108.31
6月末	21275.92	26599.96	107.88
騰落率	3.27%	7.19%	

6月は一転して日米の株式市場は反発しました。こうしてみると5月の株式市場についてのコメントは何だったの？と感じますよね。

長期の積立投資では日々のニュースに一喜一憂するのではなく、じっくりと継続することが大切だという事がよくわかるのではないのでしょうか？

世界では常に様々な新たな課題が生まれてきます。企業はビジネスを通じてそれらの課題や人々の欲求に向き合っていると考えると、それらの企業がビジネスで成果を得るまでじっくり待つ、という考え方が大切です。

そもそも株ってなんですか？

毎日のように株価の動きがニュースになっています。そのようなニュースを聞いていると株とは何か得体的にしろもないもので、よくわからないけど日々の出来事に反応して上がったり下がったりするものだ、という印象を持っている人もいるかもしれません。

今月はそもそも株式とはどのようなもので、私たち（長期の積立投資をしている人）は何を期待しているのかを整理してみたいと思います。

株式とはなにか？がすっきり理解できればニュースでよく目（耳）にする値動きの解説などに右往左往せずに済むようになります。

株式とは

株式とはその株式を発行している会社のオーナーであることの証し、権利証のようなものです。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

全部で100株発行している会社の株式を1株持っているとする、その企業について1/100の権利を持っていることとなります。

3,262,997,492株。

これはトヨタ自動車の発行済株数です。トヨタ自動車の株を100株持っている、100/3,262,997,492、の権利を持っていることとなります。

株主の権利とは

株主は、その会社について3つの権利を持っています。

- ① 株主総会に参加して決議に参加する権利
 - ・ 株式会社の重要な決定事項には株主総会の承認が必要なものがあります。それに対して賛成（反対）の意思表示をすることができます。例えば、その会社の社長さんに対して再任を承認しない、といった意思表示をすることなどができます。
- ② 利益分配を受ける権利
 - ・ 株式会社は利益がでるとその一部を配当金として株主に払います。株主は保有株数に応じた配当金を受取ることができます。
- ③ 会社を清算した時には会社に残った財産を持分にに応じて受取ることができます。
 - ・ 会社にある資産が多ければ高く評価されることとなります。利益が多い会社には早く沢山のお金が貯まります。

株主が持つこのような権利の中で期待したいのは②と③だと思います。

株式投資で成果を得る方法は？

このような特徴を持つ株式投資で成果を得るにはどうすればよいのでしょうか？

- A) 未来の②③がどうなるかによる予想や思惑で日々動く株価の値動きを上手にとらえる
- B) 投資先の企業が利益を積み上げて会社に貯まっているお金が増えたり、株主への配分である配当が増えるのを待つ

長期の積立投資では当然ですが (B) になります。

為替や金利、政治や税制、時として戦争や信用不安など、様々な出来事で日々の株価は動きます。

世界中の株式会社は、そのような状況の変化に対してどう対応し、利益を増やすかを考えながら企業活動を行っています。

時間がかかるかもしれませんが私たちはその成果が出るのを待っていさえすればよい、という事になります。

以下は世界と日本の時価総額（*）トップ5の企業です。

1. マイクロソフト
2. アマゾン・ドット・コム
3. アップル
4. アルファベット
5. フェイスブック

1. トヨタ
2. S B G
3. N T T
4. N T T ドコモ
5. キーエンス

私たちは積立をしている投資信託を通じて、間接的ではありますがこれらを含む何百・何千という世界中の株式会社の株主になっています。

これらの株式会社の役員、従業員が毎日私たちに対する配当や財産持分を増やすために働いてくれています。

そう考えると株式投資ってそんなにドキドキするものではない、と思えてくるのではないのでしょうか？

時価総額（*）

株式市場での企業の規模を計るときに使う指標の一つ。発行済み株数×株価、で表します。その企業を買収するのに必要な金額が多い順と理解すれば良いでしょう。

ちょっと気になるお金のコラム

6月3日に金融庁は金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書（案）「高齢社会における資産形成・管理」を公表しました。

「老後は毎月5万円の赤字」
「2000万円の貯金が必要」

などとニュースなどでもかなり話題になったのでご覧になった方も多いのではないのでしょうか？

また、「そんなに貯金が必要になるの？」と不安に感じた方もいるかもしれません。今月はこの報告書について整理してみたいと思います。

毎月5.5万円は自助で

【高齢夫婦無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯）】



(出典) 第21回市場ワーキング・グループ 厚生労働省資料

上図が「毎月約5万円の赤字」を示した図になります。年金収入その他の収入が20.9万円に対し、支出が26.3万円、その差額約5.5万円、老後が30年だとすると約2000万円の貯金が必要、という事を表しています。

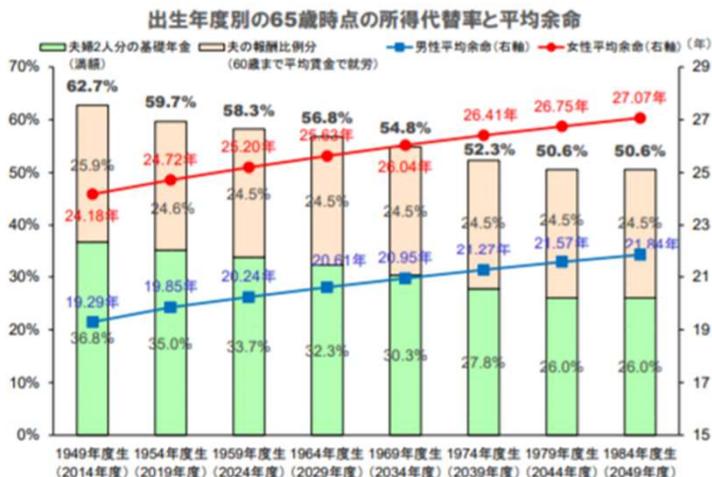
この数字は2017年総務省家計統計の数字なので今の年金受給者の生活を表していることになります。

では、将来はどうなるのでしょうか？

年金の給付水準は低下する？

上図では約19万円の公的年金を受給していますが将来はどうなのでしょう？ 漠然と減るのでは、と感じている人も多いと思います。

国は5年に1度、年金の状態を確認しています。これを年金財政検証と言いますが、前回（平成26年）に行われた財政検証で方向性が示されています。



※ 所得代替率は平成26年財政検証ケースEであり、平均余命は2014年度は平成26年簡易生命表、2019年度以降は「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の将来生命表(中位仮定)の65歳平均余命による。

(出典) 第21回市場ワーキング・グループ 厚生労働省提出資料

棒グラフが所得代替率の将来推計です。所得代替率とは、現役時代の何パーセントの年金を受給できるかを表しています。

この推計は経済成長が思わしくなく税収が伸びなかった場合についての推計です。この場合、現在約60%の所得代替率が将来50%程度に下がることが予想されています。

こうしてみると将来はこの報告書よりも多くの準備をしておく必要がありそうだ、ということがわかってきます。

どう対処する？

報告書には対応の心構えも記載されています。

- 現役期：少額からでも積立を早く始めること
- リタイヤ期前後：退職金をふまえたマネープランを検討する
- 高齢期：資産の計画的な取崩しや認知症対策など

いずれの世代についてもプランをしっかりと作る事が大切です。そのためには、まずは現状の把握することから始める必要があります。

やり方がわからなかったり、確認が必要な方はご遠慮なくお問合せください。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせはホームページからも承ります⇒
<https://fp-matsumoto.com>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内